
口頭発表

[B] 分類・形態・組織

2024年3月29日(金) 13:30 ~ 18:00 B会場 (萩)

14:00 ~ 14:15

[B-13] 双翅目糸角亜目の後胸の比較形態

○舘 卓司¹ (1. 九大院・比文・生物体系)

双翅目昆虫の後胸部は後翅の平均棍への変化に伴い、他の有翅昆虫に比べて非常に小さい。腹部につながる器官でもあり、多くの環縫群 (Cyclorrhapha) では屈曲に関する関節も認められている。

ここでは、糸角亜目 (Nematocera) のそれぞれの科の後胸部および腹部第一節を詳細に比較検討した。その結果、ケバ工科を含むケバ工下目 (Bibionomorpha) の多くでは、後胸部の背板側面に陥入 (あるいは apodeme) が認められた。これは腹部の上下運動を行うための構造であると考えられる。本講演では、その他の糸角亜目も併せて報告する。